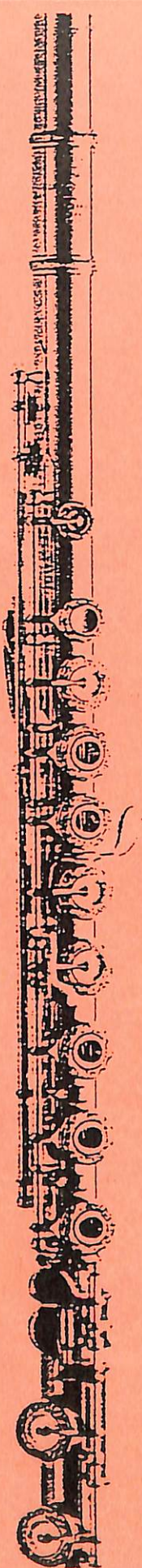


Kurashiki Academic Winds

*The 4th
Regular Concert*

December 3, 1995



倉敷アカデミックウインズ 第4回定期演奏会
1995年12月3日(日) 13:00開演 倉敷市芸文館

Greetings

“第4回定演によせて”

倉敷アカデミックウインズ団長 平松正登

ここに第4回定期演奏会を迎えることができますことは誠にご同慶にたえません。1つの節目を迎え、それに念願でもありました芸文館ホールでの開催は一同心より嬉しく思っております。

常に練習をはじめ諸問題に悩み、かつ克服しながら活動を続けてきていますが、社会人として勤務後の合同練習では不便を感じつつ平素の着実な活動の結果である現在を実感すれば一入想いを深くする次第です。

昨年は「ひまわりの園」で訪問演奏会を開きましたが心の暖かい交流に感激をいたしました。周囲の音楽に心を寄せる多くの方々に支えられていることが私達を一層よい音づくりへの努力と希望をかきたててくれます。

よい音づくりは勿論のこと、音楽を通して温かい心の交流も深めていきたいものです。今後とも格別のご支援、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

最後にご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

Program Note

栄光のすべてに

この曲はオハイオ州のワーシントン市民バンドのために作曲され、1989年2月に開かれたオハイオ州音楽教育者協会の年次例会で初演されました。

ワーシントンはコロンバス市の真北へ15kmほどの所にある古い歴史と伝統ある文化を誇りとしている町です。ジェイムス・スウェアリンジェンはこの町の伝統と市民バンドの栄光をたたえてこの曲を作曲しました。

小組曲

吹奏楽界の巨匠A.リード(1921~)は、1983年に吹奏楽曲では珍しい古典的な様式を用いて、次の4曲からなる組曲を書きました。

第1楽章 イントラダ

行進曲風な序曲で、トランペットとトロンボーンがファンファーレを奏し、堂々とした行進のメロディがテュッティで現れる。

第2楽章 シチリアーナ

古いイタリア舞曲のスタイルで書かれ、木管を中心に抒情的に歌われる。

第3楽章 スケルツォ

クラリネットを中心に軽快なテンポで展開され、洒落た感じの3部形式の曲。

第4楽章 ジーク

終曲にあたり、6/8拍子の快活な曲でやはり3部形式で書かれた爽やかな曲。

※3部形式 = 第1主題(A)と第2主題(B)からなり、曲の構成がA-B-Aの形をとるもの。

Program

First Stage

- 栄光のすべてに ◆ J.スウェアリンジェン
IN ALL ITS GLORY James Swearingen
- 小組曲 ◆ A.リード
A LITTLE CONCERT SUITE Alfred Reed
- 歌劇「タンホイザー」序曲（ドレスデン版） ◆ R.ワーグナー
TANNHAUSER Overture Richard Wagner
Arranged by Mark Hindsley

Second Stage

- 真珠の首飾り ◆ J.グレイ, E.D.ランゲ
A String of Pearls Jerry Gray & Edger De Lange
Arranged by Toshio Mashima
- スターダスト ◆ H.カーマイケル
STARDUST for Solo Alto Saxophone with Band Hogey Carmichael
Arranged by Naoya Takayama
- レッツ・ダンス ◆ F.ボルドリッジ, G.ストーン, J.ボニメ
Let's Dance Fanny Baldridge, Gregory Stone, Joseph Bonime
Arranged by Naohiro Iwai
- エル・クバンチェロ ◆ R.エルナンデス
El Cumbanchero Rafael Hernandez
Arranged by Naohiro Iwai

Third Stage

- ハリウッド万歳 ◆ R.ホワイティング
Hooray for Hollywood Richard A. Whiting
Arranged by Naohiro Iwai
- タラのテーマ ◆ M.スタイナー
TARA THEME from "Gone with the wind" Max Steiner
Arranged by James Curnow
- 第3の男 ◆ A.カラス
The Third Man Anton Karas
Arranged by Tomomasa Takazawa
- レイダース・マーチ ◆ J.ウィリアムス
Raiders March from "Raiders of the Lost Ark" John Williams
Arranged by Kinya Ichikawa
- ディズニー映画「アラジン」より ◆ A.メンケン
From Walt Disney's "ALADDIN" Alan Menken
Arranged by Paul Jennings

Program Note

歌劇「タンホイザー」序曲

〈オペラのあらすじ〉

主人公タンホイザーは歌人です。第1幕で彼は快樂の女神ヴェーヌスの支配する魔界で官能の日々を送っていましたが、彼はその生活にも満たされず故郷に戻ります。故郷ワルトブルクには恋人エリザベート姫がおり、彼女はタンホイザーの帰郷を喜ぶのでした。まもなくワルトブルク城で歌会が開かれ、タンホイザーがヴェーヌスを讃える歌を歌ったところ不謹慎だと追放されてしまいます。タンホイザーはローマ法王に罪を許してもらおうとしましたが法王は彼を許しませんでした。自暴自棄になったタンホイザーが女神ヴェーヌスの名を呼ぶと、突然あたりが暗くなり魔界が出現します。ヴェーヌスの魔の手がタンホイザーを我がものにしようとしたとき、タンホイザーは「エリザベート！」と叫びました。その瞬間魔界は消え去り、遠くから巡礼の列がやってきます。それはエリザベートの葬列でした。彼女はタンホイザーを救うために命を捧げたのです。彼はエリザベートの亡骸にすがって罪を悔やみ、そして息絶えます。巡礼の1人がタンホイザーの罪が許されたことを示し、神を讃える巡礼の合唱が響いて幕が閉じます。

序曲はゆったりとした有名な「巡礼の合唱」で始まり、急速な「快樂の女神」の主題へ続きます。1861年のパリ版ではこのまま幕が上がって第1幕の魔界でのバックナール（酒宴）へつながっていきませんが、本日演奏するドレスデン版(1847)は最後に「巡礼の合唱」を荘厳に再現する3部形式をとり、これから始まるオペラの結末が神聖な愛の勝利であることを暗示しています。

真珠の首飾り

グレン・ミラーはトロンボーン奏者、指揮者、編曲者として大活躍し、ダンス音楽で多くのファンを持っていました。彼のサウンドには1オクターブの中にサクスのハーモニーを密集させ、リード役にクラリネットを使うという特長があります。この曲は「ムーンライトセレナーデ」とともに特に有名な彼の代表作です。

スターダスト

1927年のある夏の夜、作曲者H.カーマイケルは母校インディアナ大学の構内で星のきらめく夜空を見上げていました。学生時代の思い出にふけりながら何気なく口をついて流れ出したメロディ。彼は近くのカフェに駆け込み、店のピアノでその晩のうちに楽譜にまとめました。名もないこの曲に、彼の友人で作詞家のS.ゴールは夏の夜空から星くずが降るような感じがするからと「スターダスト」の題名をつけました。

レッツ・ダンス

1819年にC.M.V.ウェーバーによって作曲されたピアノ曲「舞踏への勧誘」作品65番はベルリオーズによって管弦楽に編曲され、のちにワインガルトナーによって大編成の管弦楽用にも編曲されましたが、あることが1934年「スウィングの王様」ベニー・グッドマンの楽団はこの名曲をジャズ風にアレンジしてしまいました。

クラリネットをフィーチャーし、ノリの良い典型的なグッドマンサウンドに生まれ変わったこの曲はベニー・グッドマン楽団のテーマ曲として世界中に知られたり、いまなお愛され続けるスウィングのマスターピースです。

エル・クンバンチェロ

クンバは口の広い酒杯のことで、曲名は「クンバを叩く人」という意味です。作曲者のR.エルナンデスはプエルトリコに生まれ、2000曲を越すラテンミュージックを書きました。この曲もラテンパーカッションが大活躍するサンバのスタンダードナンバー。曲名は知らなくても、きっとどこかで聞いたことがあるに違いありません。

Program Note

～ 映画 100 年によせて ～

1895年12月28日フランス・パリ。オペラ座近くにあるカフェの地下で世界最初の映画がリュミエール兄弟によって上映されました。それから100年間、モノクロでサイレントだった映画は音声を獲得し、色彩を取り入れ、SFXなど様々な技法を開発して発展、たくさんのスターと名画を生み出してきました。そしてもちろん映画音楽も…。

映画100年によせて一私たちは特に印象深い曲を集めてみました。

ハリウッド万歳

ミュージカル・コメディ映画「ハリウッド・ホテル」（'37年アメリカ）のオープニングで、スターを夢見る主人公がハリウッドへ旅立つシーンに使われた曲。軽快なメロディが華やかなショービジネスの世界を連想させます。

タラのテーマ

アメリカ南北戦争の戦禍をくぐり抜け、力強く時にはしたたかに生きていく。ピピアン・リー扮するヒロイン、スカーレット・オハラの生き方が今も女性を魅了し続けている名画「風とともに去りぬ」（'39年アメリカ）のテーマ曲。作品全編を柔らかく包み込むように流れてきます。

第3の男

映画「第3の男」（'49年イギリス）のテーマ曲。第2次大戦直後にウィーンへ渡ったアメリカ人作家が、友人の事故死の意外な真相を暴く姿を描いたイギリス・サスペンス映画の名作です。地下水道での逃走シーンや、ヒロインが主人公ホリーの横を無言で通り過ぎるラストシーンは有名。

アントン・カラスの手が奏でるメロディはビールのCMにも使われているのでご存じの方も多いでしょう。

レイダース・マーチ

'89年、現代ハリウッド娯楽映画をリードするS.スピルバーグが「スター・ウォーズ」のJ.ルーカス監督と手を組み、映画「レイダース/失われたアーク（聖櫃）」を製作。考古学者にして冒険家のインディ・ジョーンズの誕生です。シリーズ第1作となるこの作品は、1930年代にアメリカ軍情報部の名を受けてナチス・ドイツと戦いながら聖なるアーク（櫃）を探するというストーリー。アドベンチャーシーンに流れるこの「レイダース・マーチ」はシリーズ3作ともに使われています。

ディズニー映画「アラジン」より

「美女と野獣」「ライオン・キング」など数々の名作を生んだW.ディズニーが「アラジンと魔法のランプ」の物語を昨年コンピューターグラフィクスを駆使したファンタジーあふれる映像美で再現。ランプの精ジーニーとアラジンとの友情、魔法でアリ王子となったアラジンとジャスミン姫との恋が感動を呼びました。

このメドレーでは、「アラビアン・ナイト」「俺みたいな友達が」「アリ王子」そしてアカデミー最優秀主題歌賞を獲得した「ホール・ニュー・ワールド」の4曲をピックアップ。あの心暖まるストーリーがよみがえります。

The List of Members

FLUTES & PICCOLO

江口 敏子
遠藤多珠子
岡田 敏枝
岡田 正美
小野 寛子
近藤 昭子
塩津 恵
野中 友雄※
弓場 祥彰

B^b CLARINETS

安宅 忠司
飯島 里枝
奥田美穂子
小野由紀子
国富 美子
児新 綾
水川かおり
森 久仁江
渡辺 恭子

ALTO SAXOPHONES

尾関 祐里
片山 謙吾
藤田 裕子

TENOR SAXOPHONE

荻田 朋子

BARITONE SAXOPHONE

吉本 雅夫

BASS CLARINET

渡辺 順子

HORNS

川内美由紀
河手 道浩
永野 真弓
小田 圭一☆
小坂 衣代☆
溝口 路子☆

TRUMPETS & CORNETS

藤原 裕之※
藤原 靖彦
吉浦 理夏
渡邊 浩治
坂本 玲子☆
山根 里美☆

TROMBONES

佐藤 直道
高見 康彦
新堂 俊文☆
松尾 浩寿☆

EUPHONIUMS

市場 美雄
大原康次郎
小郷真由美
佐藤 裕史

TUBAS

矢尾 哲平
辻田 将一☆

DRUMS & PERCUSSIONS

板谷 淳子
今川真由美
福島 牧子
森本 将光
若松 直也
若松 真美子

※指揮

☆賛助

ごいっしょに吹奏楽しませんか？

倉敷アカデミックウインズでは、ただいま団員を募集しております。学生時代に吹奏楽を経験された方でその後も演奏活動を続けていきたいと思われる方、ぜひ一度見学にいらしてください。

技術も伝統もまだまだこれからというバンドですが、私たちと一緒に楽しみませんか？

詳しくは倉敷アカデミックウインズ事務局（086-463-1340 若松）までご連絡下さい。